

減災

－ ひとりひとりの行動が 被害を最小限に

減災とは、災害は生じるものという考えを前提に、被害を最小限に抑えるためにおこなう取り組みです。

いつ、どこで起こるか分からない災害。被害を最小限に抑えるためには、日頃から減災に対する備えが必要です。雨や台風が多くなる時期を前に、備えについて考えてみましょう。



自分でおこなう災害への備え

(気象庁ホームページから一部抜粋)

警報などの防災気象情報を利用して、被害を未然に防いだり、軽減することが可能です。テレビやラジオなどの気象情報に十分注意し、台風や大雨の危険が近づいているというニュースや気象情報を見たり聞いたりしたら、災害への備えをもう一度確認しましょう。

■ 家の外の備え

大雨が降る前、風が強くなる前におこないましょう。

- 窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強する。
- 側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておく。
- 風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定したり、家の中に入れる。

■ 避難場所の確認など

- 学校や公民館など、避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しておく。
- 普段から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておく。
- 避難するときは、持ち物を最小限にして、両手が使えるようにしておく。

■ 家の中の備え

● 非常用品の確認

懐中電灯、携帯用ラジオ(乾電池)、救急薬品、衣類、非常用食品、携帯ボンベ式コンロ、貴重品など。

● 室内からの安全対策

飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼ったり、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておく。

● 水の確保

断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する。



停電を防ぐ対策

ビニールやトタン、樹木などが電線に引っかかると、長期間の停電の原因になる場合があります。全国各地で、倒木や飛来物により電線が切断され、大規模な停電が発生した事例もありました。台風接近前には、飛来物などへの対策をお願いします。

倒れそうな樹木は
伐採されていますか？

外にあるものは、
しっかりと
固定されていますか？